広報五城目

発行所　五城目町役場　編集者　北島礼三郎
電話（五城目局）501番
印刷所　秋田県五城目町　湖東印刷所　電話170番

みんなの力で立派な国体

国体開催に完璧の布陣

開幕あと一旬後にせまる

㊙…真金吹うつみちのくの秋に、けんらんと繰ひら…㊙
㊙…げられる第十六回国民体育大会、待望久しかった…㊙
㊙…秋田国体は明暮まであと一旬を残すのみとなった…㊙
㊙…国体レスリング競技の行われるわが五城目町も「…㊙
㊙…国体は明日民総参加で迎えましょう」のスローガン…㊙
㊙…のもと、大会会長の北嶋町長を陣頭に町を挙げて…㊙
㊙…諸準備を進め、万全の態勢を整えていまはただ開…㊙
㊙…幕を待つばかりである。……㊙

旗リレー　前年度開催地の九州熊本城下から出発した国体旗は三、二九五キロの長途を次々と受けつがれて十月五日に本町を通過する。

当日は午後一時十五分、五城目高等学校入口で佐藤郡司議員を隊長とする第一班二十一名が受つぎ、町内を通って第一中学校に到着、ここで二木敬治議員を隊長とする第二班二十一名がリレーされ、再び町内を通って岩野部落入口まで挿持して井川村に送られる。

この日は国体旗の到着を焚火を打上げて知らせるので、各戸に日の丸を掲げ町民総出でこれをむかえ盛んな拍手を送つていただきたい。

競技会場　国体レスリング競技会場となる第一中学校は、体育館で競技が行われるほか各県選手控室、計量室、シャワー室、部屋、購買、保健室等ほとんど全校舎が利用される。

競技の行われる体育館には四面のマットが設けられ、正面貴賓席を中心にそれぞれ指定席が設けられる。小中学生や一般町民も観らん席で自由に観ることができるようになっている。

宿　泊　本大会で全国各地から農場する選手役員などの総数は五百五十余名のうち、十月六日午前五時十分に憧島無選手団が第一陣として到着する予定でその後続々と来町する。

この宿泊関係については町民各位の協力を得て早くから準備が整い、旅館六軒へ三三九名、民家五十一軒へ一七五名がそれぞれ投宿することになっている。

また料理についても国体料理の講習をひらいて発表のある美味しい献立を準備している。なお当夜は一般観らんも自由である。

前夜祭　大会開始の前日、十月八日の夜は五城目小学校体育館で選手の選手を歓迎する盛大な前夜祭が催される。

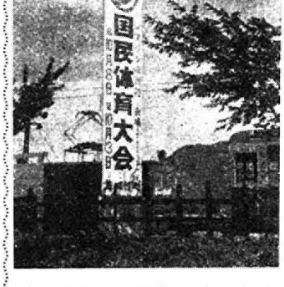
内容はつぎのとおり。

①民謡：鳥井森鈴一行の民謡歌手が出演する

②番楽：郷土の代表的な芸能として宮番楽を演ずる

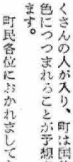
③おどり……金町の婦人会、若葉会、青年会から推薦された有志で「秋田音頭」と「秋田おばこ」を披露する。なお当夜は一般観らんも自由である。

このほか四日間の大会を華やかに、そして完全にやり遂げるため歓迎の鼓笛隊とブラスバンドの市内行進、選手団の出迎えと輪送、衛生と救護、広報宣伝、町内の歓迎装飾、観光土産品などあらゆる面に心を配り、関係各方面の絶大の協力を得て万全の態勢を布いている。



国体レスリング競技大会開催に際して

五城目町長　北嶋金森



県民待望の第十六回国民体育大会もいよいよ目前に迫りました。この大会のレスリング競技を受持つわが五城目町としてもさらに心をひきしめて万全の態勢をととのえる必要があると思います。

国民体育大会はアマチュアスポーツ精神を高揚し、人心の融和と健康の向上によって、明朗な国民生活を築くことを目的とした全国的文化運動であります。

この宿泊関係については町民各位の協力を得て早くから準備が整い、旅館六軒へ三三九名、民家五十一軒へ一七五名がそれぞれ投宿することになっています。

町民各位におかれましても遠来の選手役員たちを暖かくむかえ入れ、力と技を十分に発揮したりつぱな競技が行われ、国体の目的を遺憾なく達成されますよう、郷土をあげあゆる面で町民各位が各大のご協力をしめされることは、まことに心強く感謝にたえません。

本大会には全国各地から選手役員など約六百名が集町し、十月九日から四日間の熱戦が展開されることになりますが、これと同時の賑賞として高松宮殿下が御来町されます。

高松宮殿下の御来町は、十月十日競技第二日目の午後二時十五分より三〇分間試合を御覧らんされることになっています。

高松宮殿下がご来町

10月10日競技をご観覧

第16回国体の開催に伴ない我が町のレスリング競技ご観らんのため、賜賞として高松宮殿下が御来町される予定です。

御来町の御日程は、十月十日競技第二日目の午後二時十五〇分より三〇分間試合を御観らんされることになっています。

全員と行事のおしらせ

◎臨時町議会＝9月26日～10月空件は追加更正予算ほか（町議会議員三〇名）

◎家畜市場（セリ）と家畜品評会＝10月下旬於杉ケ崎家畜センター

牛、豚、山羊、鶏などの総合品評会であるから多数参加を望む

◎秋期植樹とジフテリヤ混合ワクチン接種＝10月中旬各地区を巡回する

国体開会中は各戸に国旗をかかげましょう

追加更正予算など提出

九月臨時議会開会される

町議会九月臨時会は、かねて準備を進めていた昭和36年度各会計の追加更正予算など十一案件が提出され、会期を九月二十六日から七日間と定め開会された。

提出された議案は次のとおり。

①一般会計才入才出追加更正予算（追加額三三、八一〇、六九〇円）

②町有林野特別会計才入才出追加更正予算（追加額七四、八四七、三六〇円）

③水道特別会計才入才出追加更正予算（追加額四、五〇三、四〇〇円）

④国民健康保険特別会計才入才出追加更正予算（追加額一七九、八四〇円）

⑤玄木の処分について（馬場目字四ケ沢司有林の立木五六、一一〇本の処分）

◎町起債について（上水道事業費に充てるため三百四十万円を大蔵省資金運用部から、二百万円を公営企業金融公庫から借入れる。また第一中学校新築事業費に充てるため三百四十万円を大蔵省資金運用部から、公有林整備事業費に充てるため九十万円を農林漁業金融公庫から借入れる）

工事請負契約の主な被害

▼農業関係の主な被害

稲の冠水　一町歩

田畑の冠水五五町歩、冠水一〇五町歩、倒伏四〇〇町歩

被害額一、〇五五万円

▼畜産物等の主な被害

住家半壊二棟、住宅全壊一〇棟、屋根トタン二〇ケ所三九坪、板囲二四ケ所四三九坪、ヘイ倒伏八ケ所五〇間電柱倒伏四本、倒木五〇本、道路欠壊二ケ所一〇米、被害額三五七万円

10月8日の国体入場券各町内、部落へ配布

来る十月八日秋田市八橋グラ

湖岸部の稲に大被害

18号台風のつめあと

超大型台風といわれた第二室戸台風は、去る十六日夕刻から翌日未明まで吹き荒れ、本町各地へも大きなつめあとを残した。

町では台風来るの情報とともに急遽「十八号台風災害対策本部」を役場内に設け、北嶋町長が直接これを指揮して被害警戒するとともに消防署と各地区消防団で緊急警戒態勢を布いて災害防止に万全の策を講じた。

さいわい台風の中心は本州黒西方の海上を通過したが、影響範囲が大きく湖岸部一帯の田地は水びたしとなって刈り取つた稲は大半流失し、また各地の農作物や民家が大物な被害を受けた。

対策本部が取まとめた被害状況はつぎのとおり。

◎農業関係の主な被害

稲の冠失　一町歩

田畑の冠水五五町歩、冠水一〇五町歩、倒伏四〇〇町歩

被害額一、〇五五万円

▼畜産物等の主な被害

住家半壊二棟、屋根トタン二〇ケ所三九坪、板囲二四ケ所四三九坪、ヘイ倒伏八ケ所五〇間電柱倒伏四本、倒木五〇本、道路欠壊二ケ所一〇米、被害額三五七万円

◎被害額＝家畜の採肉（全三万円）

◎甲諸父二ノ沢砂防工事分担金（全三万円）

国体宿舎に薬剤を配布

町では国体開催を前に環境衛生の一環として各宿舎に次の薬剤を無償配布する。

①蚊、ハエ撲滅の油剤（PPUP）一戸当り五合

②防臭剤（センター）一戸当り二袋

配布の時期は9月下旬か10月上旬の予定

畜産品評会が開かれます

来る10月26日杉ケ崎家畜センターで町主催の総合畜産品評会がひらかれます。

最近の畜産ブームでことしは例年にない盛況が予想されるので飼育者の充分な手入を望みます

企に充当する目的で、富津内　中津久、小玉ナナ子から）

ンドで催される国体開会式は、多彩な公開競技を繰りまぜてけんらん絢爛なものであるが、この入場券が二一〇枚本町に割当てされた。

国体事務局ではこの約半数を町の各種機関へ、半数を町内部落のうち六〇戸以上へ二枚、五九戸以下へ一枚の割合で配布した。町内部落では抽籤等の方法で公平に配布していただきたい。

また十月一日に秋田市八橋グランドで行われるモギ開会式の入場券二五〇枚も当町に割当されたので、これも各団体等へ適宜配布した。

第16回国民体育大会
10月9日～10月12日
1961
レスリング
五城目町　五城目一中体育館
日本体育協会　文部省・秋田県

レスリング競技日程

会場　五城目第一中学校

10月9日（第1日）
9,00～10,00　開始式
10,00～17,00　一般、高校各階級1回戦と2回戦の240試合を行う

10月10日（第2日）
9,00～17,00　一般、高校各階級2回戦と3回戦の288試合を行う

10月11日（第3日）
9,00～18,00　一般、高校各階級4、5、6回戦の240試合を行う

10月12日（最終日）
9,00～12,00　一般、高校各階級の決勝リーグ45試合
12,00～13,00　終了式

◇使用会場◇

① 競技会場…五城目一中体育館
② 練習会場…五城目小体育館
③ 宿泊関係会場…五城目幼稚園講堂
④ 宿泊関係会場…五城目町体育館
⑤ 歓迎委員会…五城目小体育館
⑥ 諸会議…五城目町役場会議室

公民館だより

さあ「国体」だ 町民総参加で迎えよう

まだまだと思っている秋田国体も、もう目前に迫りましたが、こゝで暖かい歓迎の扉を開くために、最後のしめくゝりをつけましょう。

まごころと花いつぱいで国体を天に晒、地に花、人に愛の言葉があるように、花を愛することもまごころであり、その人しあわせであると思います。

各戸の家の回りは勿論であるが、駅前や各場所に花の栽培困難な店街等に、花（切り花）も出し合いたいものです。見るための花でなく、本当に旅のつかれを慰めることの出来る、移動花壇、花の展示会（生花等）などによって、花で迎えた花で送る国体でありたいものです。

国体は親切と清潔で

旅をする人には何と言っても親切にすることが大切です。駅頭等への歓迎の場から始めて、荷物を持ってあげたり、道を案内し始めて訪れた五城目を紹介したり、進んで用事を引き受けたり、過ぎない世話をしてやったり、町全体は勿論宿舎の寝具や食器類、その他施設全般が清潔でなければいけないと思います。

特に汚れ易い場所や物品については注意を払いたいものです表面だけの実でなくて、全体の実じさ、清潔さを第一に考えましょう。

明朗とえ顔あふれる国体を

東北人には少ないと言われる明朗さと、え顔もちつとが大切だと思います。若し言葉がよく通じなくても、明朗さを失わずに辛抱待することによって、心は暖かく通じ合うものと信じます。特に商店や宿舎等はその機会が多いことでしょう。

常に相手をわがふところに暖かく包む心掛が大切です。明朗とえ顔は「にくしみ」や「いがみあい」のない、明るい社会を築くもとになることだと思います。

裏にまた次の事柄を考えられます。

◇ 健康活動

▽姿勢を正しくしましょう。
▽仕事の合間に体操をしましょう。
▽生活にスポーツを取り入れましょう。
▽環境衛生の向上に努めましょう。
▽フタづきのゴミ箱をそなえましょう。
▽路上の立小便やツバをやめましょう。
▽食生活を合理化しましょう。
▽子供は手足をきれいにさせましょう。
▽がんばる力を養いましょう。
▽国体の競技内容を理解しましょう。

◇ 明朗活動

▽正しいよいことばを使いましょう。
▽時間を守りましょう。
▽交通道徳を守りましょう。
▽公衆道徳の高揚に努めましょう。
▽みんなでレクリエーションを楽しみましょう。
▽可町村をきれいにしましょう
▽病を電燈で明るくしましょう
▽空地や店前を花いつぱいにしましょう。
▽一列乗車を励行しましょう。
▽弱人、子供の歩行には特に安全運転をしましょう。
▽国体には国旗、国体旗を掲揚しましょう。
▽国体記念植樹をしましょう。

◇ 親切活動

▽いつもニコニコ歓待しましょう。
▽電話は必ずえ顔でかけましょう。
▽お客様には、はきはき、ていねいにしましょう。
▽客に挨拶をつけず、真心は行いで表現しましょう。
▽商品は品質本意と公正価格をモットーにしましょう。
▽郷土の知識を深め、じょうずに紹介しましょう。
▽道案内は、はつきりていねいにしましょう。
▽宅人や子供をいたわりましょう。
▽青年学生は、車中で座席をゆずりましょう。
▽行商人は車中他人に迷惑かけぬよう自粛しましょう。

などいろいろあるのですが、これらについて先ず誰でもが実践したいものです。

然してこれは国体のために行う事柄でなしに、今迄充分になされていないとすれば、全国からお客様を迎える国体を機会に、みんなで実践し且つ習慣づけたいと思っておりますので、全町民から一段と御協力を願り、本町の新しい「町民性」をうちたてたいと、念願しております。

町民講座開催される 高橋 功博士を迎えて

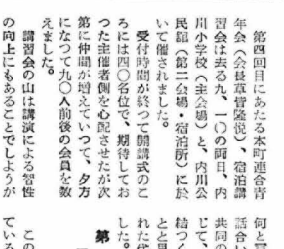
8月29日 於了賢寺

現代世界の偉人として、赤道アフリカの黒人らい患を救ったお教世主のように慕われているシュバイツァ博士のもとで、博士の仕事に協力している高橋功博士が、先頃休暇を利用して帰国していたので、来城する機会を利用して左記要項によって「講演会」を催しました。

▼講演会開催要項

一、主催・中央公民館
二、後援・社会文化同盟・医師会・清和会・五城目婦人会・母の会
三、日時・八月二十九日（火）午後二時半頃開会
四、会場・於郡役所
五、演題・「シュバイツァ博士とともに」

右の要領で約二時間位の講演と座談で、アフリカでの仕事や気象状態、シュバイツァ博士の人格や生活、アフリカ人の風俗習慣、高橋博士の動機や博士及び夫人の仕事や生活等について講演され、質問等を中心にいろいろとつきない座談が進められ三百名に及ぶ聴衆に深い感銘を与えた。



高橋博士は以前に湖東病院に勤務したことがあり、貳子夫人は渡辺綱喜氏の令妹であることは周知の通りであるが、休暇の目的でもある歯の治療もよそに万々の要請によってシュバツァ博士を語り、近く父貳子夫人の病るシュバイツァ博士のもとへ帰国し直ちに出発されるお礼とアフリカへ帰えることになっている。

高橋博士に心からなるお礼と博士御夫妻の御健康を祈り、赤道アフリカでの活躍を期待するものである。

盛会裡に終る 五連青「会員宿泊講習会」

9月9・10日 於内川

第四回目にあたる本町連合青年会（会長章曾隆氏）、宿泊講習会は去る九、一〇の両日、内川小学校（主会場）と、内川公民館（第二会場・宿泊所）に於いて催されました。

受付時間が終って開講式のころには四〇名位で、期待されつた主催者側を心配させたが次第に仲間が増えていつて、夕方になつて九〇人前後の会員を数えました。

講習会の山は講演による智性の向上にもあることでしようが何と言つても同一課題で自由に話合い、仲間意識をたかめて、共同の力で青年自体の向上を通じて、地域社会全体の向上とびつ結つく、分科会の討議にあることと思いますが、そこで話合われた代表的なものは次の通りでした。

第一分科会

「地域性にマッチした青年会活動をするにはどうすればよいか」

この問題は早くから要請されているし、常に論議されたことであるが地域社会の実態をつかんでいないことと、それ以前に自己の会の把握が不充たこともあり、また旺盛な実践力に次けている点もあると思われます農協法と農業経営の問題、出稼ぎ青年問題や女子青年をとりまく諸問題等についても、研究討議を深める必要がありましよう

第二分科会

「青年会員の役割をより高めるためにはどうすればよいか」

青年会と青年学級の関係が一つと、やはり青年会自体のプログラム（事業計画）の組み方が大きな課題であるでしょう。

学習意欲のある青年のみの「学級」にすると、青年会活動に大きな支障を生ずるとなげくし、一方開設側の人的要素の不足によつて、これも困る問題であるとの、これも又困る問題であるとの、要は青年会に於いてありたいの行事の繰り返しではなくて、本当に会員の教養向上に役立つ計画をたてる事でしよう。特にこの事は上部団体にこそ言えたいことです。

第三分科会

「今後の青年会活動のあり方について」

ここでは会合の多すぎることがあげられましたが、それは青年会のみでそうではなしに、一人の会員が多くの会に入会し、或いは多くの集会に参加していることであるが、要は青年会員の意識深い秋田国体の歓迎と駅前を協議会では、来る十月六日～十三日迄八日間、会員が交代で奉仕しようとするものですが、ちようど農繁たけなわのときのので、街頭を中心にその日割や人数が定められているようです

◇ 青年会員の部

六日＝五城目青年会（男女一六人）
七日＝五城目青年会（男女一八人）
八日＝五城目青年会（男女一九人）
九日＝杉沢・森山・大川青年会（男女二四人）
一〇日＝内川・富津内青年会（男女二四人）
一一日＝各単位青年会役員（男女二四人）
一二日＝馬川・馬場目青年会（男女二四人）
一三日＝五城目青年会（男女一六人）

◇ 婦人会員の部

五日～一三日迄毎日平均二〇人は五城目婦人会で繰り出し、六日～一二日迄の七日間は各単位婦人会で、毎日四名ずつ繰り出すことに出発した。

【 1舞伏 】 を受ける敬老会風景

国体の成果を期待して 青年婦人大いに協力

青年会もあつが公民館のPR

第十次回国民体育大会が開会されようとしております。此の意義深い秋田国体の歓迎と駅前と二名ずつ分れて歓迎・案内接待の処理の趣旨を、常に確立されていなければいけないでしよう。

こうした事柄を二一回に亘つて、もつと細かに話合われましたが、要はそれがただ話合いだけにとどまらず、それぞれの立場に於いて意識におし進められるべきでしよう。

毎年同じようなことで話合われていることは、まことにしのびないことのように思われてなりません。お互い大いに病進したいものです。

日 本 の 象 徴

「国旗」を掲げよう

国旗が国の象徴であることは申す迄もありませんが、その掲揚は単に国民の祝日だけでなく、心要によつて掲げたいものです。

さて愈々第十六回国民体育大会も目の前に迫りましたが、国体準備委員会の国旗を掲げるようにして歓迎中は国旗を掲げるようにして載きたいものです。

国旗をみることによつて全国から参集する選手達は、旅のつかれをいやし試合の活力を与えられる面もあると思われます。

勿論国旗だけでなく「国体旗」「提灯」それらも工夫して飾りたいものです。

特に「国旗」については今回の国体を機会に、今後の祝日毎には是非掲揚するように習慣づけ国の象徴の「国旗」を高々と掲げるようにしましよう。

等の不充分もあるでしようが、毎月発行の町広報「公民館だより」が読れていないことと、青年会員達の公民館運営諸委員として、その活動や話合いの内容について、会員へ伝えられていないことにもあると思われます。何れ青年会は年会なりの処理の趣旨を「公民館だより」が載れていないことと、青年会員達の公民館運営諸委員として、その活動や話合いの内容について、会員へ伝えられていないことにもあると思われます。何れ青年会は年会なりの処理の趣旨を

公民館だより